

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
中級簿記 I	共通	2年生・前期	2単位	選択	岩下 昌美
履修の前提条件	複式簿記(3級)の基本知識を習得していることが必須。「会計学入門」「簿記 I・II」「会計学総論」などの会計関連科目を履修していることが望ましい。電卓準備。遅刻厳禁。				
授業概要 (Course Outline)					
複式簿記とは、企業の日々の経営活動を記録・計算・整理して経営成績と財政状態を明らかにする原理と技能のことです。本講義では、日本商工会議所主催の簿記検定3級の内容(個人商店)をとおして、複式簿記の原理・技術について修得していることを前提に、簿記検定2級の対象である株式会社の経済活動に関する会計処理・決算手続きを学んでいきます。平成29年度から出題範囲に加わる項目についても学習していきます。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture				
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature				○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				○
	情報リテラシー Information Literacy				
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking				○
	問題解決力 Problem Solving				○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy				○
	自己管理能力 Self-management				○
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense				○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning				○
到達目標 (Objectives)					
本講義では、日本商工会議所簿記検定2級の商業簿記の内容を中心に簿記の技術および理論を学び、株式会社の経済活動を記録、集計し、財務諸表を作成できるようになること、簿記検定2級の内容全般の基礎知識を修得することを目標とします。					
事前学習の内容	テキストの指示する箇所(授業計画の欄を参照)を必ず読んでおいてください。意味のわからない用語は辞書などで調べおいてください。				
事後学習の内容	毎回の復習課題により事後学習を行うこと。次回講義前に提出してください。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
授業は対話型を心がけ進めていきます。不明な点や疑問などが生じた時は積極的に発言してください。授業終了時には毎回の理解度をチェックするため、ミニテストを実施します。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
連絡、問い合わせ、相談などは2号館2階270室の研究室にてオフィスアワー時(年度はじめに掲示)、あるいは電子メール(アドレス:masami-i@kiis.ac.jp)で受け付けます。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
学習の確認:ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して前期定期試験日に岩下までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション(講義の概要の説明など), 複式簿記の基本(復習)		
第2回	株式の発行(新株発行, 合併), 剰余金の配当と処分(利益準備金積立額の計算), 税金(法人税, 消費税)について学習する。		
第3回	剰余金の配当と処分(利益準備金積立額の計算), 税金(法人税, 消費税)について学習する。		
第4回	商品売買(1)割引, 割戻, クレジット売掛金, 電子記録債権債務について学習する。		
第5回	商品売買(2)売上原価の算定, 棚卸減耗損・商品評価損, 売上原価対立法について学習する。		
第6回	手形取引(更改, 不渡り), 当座預金と銀行勘定調整表について学習する。		
第7回	固定資産(1)取得, 減価償却, 売却, 買換え, 除却・廃棄, 改良・修繕, 滅失について学習する。		
第8回	固定資産(2)建設仮勘定, リース取引, 圧縮記帳, 無形固定資産について学習する。		
第9回	有価証券(分類, 購入と売却, 端数利息の処理, 評価替え)について学習する。		
第10回	外貨建取引と引当金(貸倒引当金, 修繕引当金, 商品保証引当金等)について学習する。		
第11回	精算表と財務諸表(1)決算整理と試算表の作成について学習する。		
第12回	精算表と財務諸表(2)財務諸表の作成について学習する。		
第13回	帳簿の締め切りと本支店会計(本支店間の取引について学習する。		
第14回	連結会計について学習する。		
第15回	税効果会計と, 製造業の決算処理について学習する。		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『サクッとわかる日商2級(商業簿記) テキスト+問題集』	桑原知之	ネットスクール出版	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『合格トレーニング 日商簿記2級 商業簿記』		TAC出版	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
<p>成績評価の方法: 定期試験(70%), 平常点(30%)。平常点は科目別履修状況チェック表の提出状況, 毎回の授業最後の成果物提出状況で判断する。</p> <p>成績評価の基準: ①2級の取引の仕訳ができるか。②銀行勘定調整表, 伝票の日計表が作成できるか。③貸借対照表・損益計算書(報告式)および株主資本変動計算書が作成できるか。</p>			